



和室の設えにも北欧のうつわはよく似合う。左より Rorstrand 窯 Carl-Harry Stalhane 作 盃、麦わら手筒杯、京薩摩盃、Rorstrand 窯 Carl-Harry Stalhane 作 地紋盃、Kosta Boda Monica Backstrom 作 サテンガラス瓶

東京下町の花街として明治から昭和にかけて隆盛を誇っていた柳橋。今は料亭も姿を消したが、華やかな頃の面影を残す昭和を代表する芸者歌手、市丸さんの住まいが2001年に修復され、ルーサイトギャラリーとして活用されている。隅田川の眺めと古風な建物は趣があり、現代作家や古美術商らの展覧会場として人気だ。主催する米山明子さん自身も古美術商であり、本誌2019年7月号の「北欧のうつわ」特集でも出ていただいたように、特に北欧のビンテージ陶磁器やガラスを好み、主に北欧やアメリカから取り寄せて展覧会で販売している。近代の北欧の器は、中国や朝鮮、日本の陶磁器の影響が釉薬や器型に色濃くみられるため、和骨董と並べても違和感がない。茶器とか酒器とか、もともと用途は限定せずに作られ、使い手が花器にしたり、カップにしたりと、自由に使われてきた。米山さんは小さめの器を茶碗や酒器として、和の器と合わせて使うことを提案している。こぶりの器でも北欧らしい洗練されたデザインと美しい色合いで、しかも力強さを感じさせるので、ちょっと気分を変えたい時などに重宝しそうだ。

夏にお似合いの酒器を探しに その2

ルーサイトギャラリー



北欧ビンテージ 左から Nymölle 窯 Gunnar Nylund 作 盃、Kosta Boda Bertil Vallien 作 "Tornado" 盃 (ガラス)、Arne Bang 筒盃、Kosta Boda Bertil Vallien 作 青ガラスデキャンタ



左より Alumina 窯 内金彩盃、Saxbo 窯 E.S.Nielsen 作 盃、色合いが美しい Kosta Boda Kjell Engman デキャンタ

Palshus 窯 Per Linneman-Schmidt 作 筒杯、Saxbo 窯 小壺、絵瀬戸輪線徳利、京オランダ花文小皿

ルーサイトギャラリー

所在地：東京都台東区柳橋1-28-8
 開店時間：展覧会期間中11時～18時
 不定休
 問合せ：03-5833-0936
 URL：http://lucite-gallery.com
<https://www.instagram.com/lucitegallery/>
 今後の展覧会
 掲載のうつわを展示販売する「器のチカラ」
 展を伊勢丹新宿店で8/12～25に開催（詳細149頁）



上：庭の緑を眺めながら一献 左より古伊万里墨流し文そば猪口、Gustavsberg 窯 Berndt Friberg 作 赤小碗、Kosta Boda Vicke Lindstrand マーティーニー・ピッチャー（1959）

左：Gustavsberg 窯 Berndt Friberg 作 黒袖盃、Palshus 窯 Per Linneman-Schmidt 作 白カップ、Kosta Boda Kjell Engman 作 ボトル